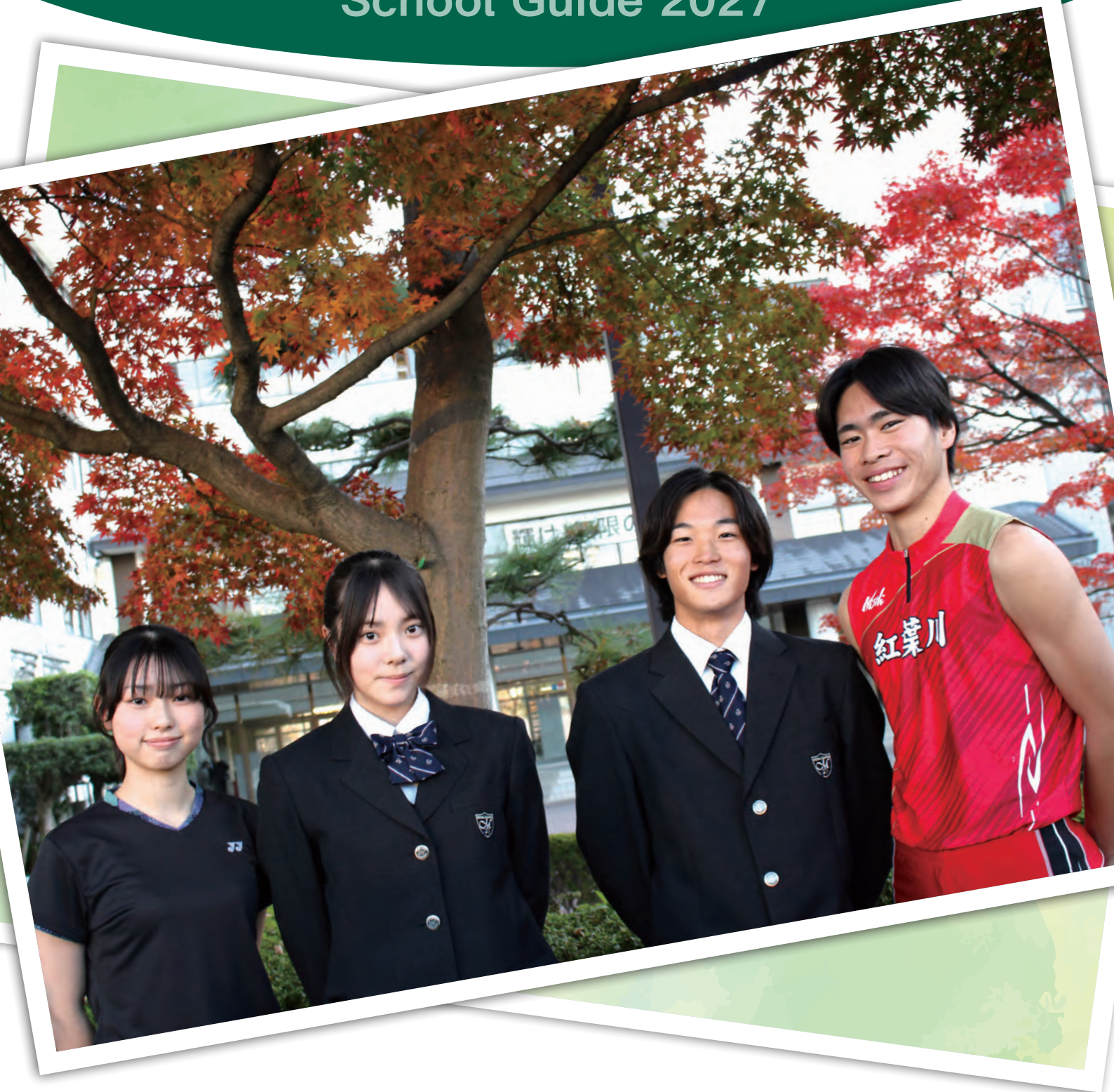




東京都立 紅葉川 高等学校

Tokyo Metropolitan MOMIJIGAWA High School

海外学校間交流推進校／学力向上推進校／外部検定試験実施校

紅葉川高等学校

教育理念

本校は、昭和3年に日本橋兜町の地で、東京市日本橋区楓川専修女学校として創立し、昭和23年には校名が現在の紅葉川高等学校となりました。その後、広い校地を求めて現在の江戸川区臨海町に昭和61年1月に移転し、令和10年に100周年を迎える歴史と伝統ある学校です。

「文武両道」・「自主自立」を教育理念として掲げ、その実現のために4つの校訓を定めています。その4つとは、親しみの心をもつ「敬愛」、心をあわせて努力する「協力」、自分の立てた規範に従って行動する「自律」、そして、困難にくじけない強い意気のある「気概」です。

学び方も多様化している現在において、毎日学校に通い、教室で学習することの価値は何か考えてみますと、「相敬いて今日も励まん」と本校の校歌にあるように、そこに仲間がいて、共に学び、切磋琢磨できることが真っ先に挙げられます。

紅葉川では、健やかに伸びる子供自身が自己の成長を実感できるように指導し、毎日の学習を通じて、現状を把握し、目標に向かって努力を継続する力を、行事や部活動等を通じて他と協調するコミュニケーション能力を育んでいます。

また8年度は東京都から「外部検定試験実施校」、「学力向上推進校」の指定を受け、学力向上に向けて取り組んでいます。6年度に指定された「海外学校間交流推進校」では、英語圏に留まらず、世界の高校生と交流を行っています。普通科中堅進学校として、これからも自らの可能性と人との繋がりを大切に「文武両道」・「自主自立」に邁進してまいります。

紅高（もみこう）生として、3年間の高校生活を思い切り楽しみ、そして自分の進路を切り拓きたい皆さんをお待ちしています。



校長 小山 多香子



スクールミッション

文武両道、自主自立の精神を身につけ、たくましく生きる力を育成することを教育目標とし、キャリア教育や全ての教育活動を通じて、目標達成力、情報収集力、論理的思考及び行動力、規範意識、困難を克服する力をそなえ、周囲の人と共存・協働し、積極的に人生を切り拓く生徒を育成します。

スクールポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

- ① 他者の話をよく聞くとともに、自らの意見を表明し、適切な行動を選択できる人材を育成する。
- ② 敬愛・協力・気概・自律の理念にのっとり、自己の可能性を育成する。
- ③ 周囲と共存・協働し、積極的に人生を切り拓く力を育成する。

(2) カリキュラム・ポリシー

- ① 思考力・判断力・表現力を身につけ、それを伸ばすためにすべての教科の学習に積極的に取り組ませる。
- ② 自ら情報を集め、論理的に考え行動できる力の形成に取り組ませる。
- ③ 社会性と責任をもって互いに尊重しあい、適切にコミュニケーションをとれる力の形成に取り組ませる。

(3) アドミッション・ポリシー

- ① 大学進学への目的意識をしっかりとち、高い志望を掲げて努力をする生徒。
- ② 国語・数学・英語・理科・社会の基礎学力があり、さらに深く学ぼうとする生徒。
- ③ 学校生活の規律を守り、広く他人への配慮ができる生徒。
- ④ 部活動、学校行事、ボランティア活動等に積極的に取り組む生徒。

制服

冬服は、ダークグレーのブレザーにグレーのスラックス、またはチェック柄のプリーツスカート、ネクタイかリボンタイを着用します。夏服は、白のワイシャツの他、白、黒、濃紺のポロシャツの着用も可能です。



沿革

昭和3年 東京市日本橋区楓川専修女学校として創立
 昭和6年 東京市日本橋家政女学校と改称
 昭和15年 東京市立日本橋高等家政女学校と改称
 昭和18年 東京都立日本橋高等家政女学校と改称
 昭和21年 東京都立紅葉川高等女学校と改称
 昭和23年 東京都立紅葉川高等学校と改称
 昭和60年 江戸川区臨海町に移転
 平成30年 創立90周年記念式典を挙

学年別学習科目と単位数（週あたり授業時数）『令和8年度入学生の例』

第1学年	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	科目	現代の国語		言語文化		地理総合		公共		数学Ⅰ			数学A		生物基礎		体育			保健		芸術選択Ⅰ 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ		英語コミュニケーションⅠ		論理・表現Ⅰ		情報Ⅰ		総合的な探究の時間	
第2学年	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	文系	文学国語				歴史総合		数学Ⅱ			理科選択 物理基礎(2単位) 化学基礎(2単位) 地学基礎(2単位)				芸術選択Ⅱ 音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ		体育		保健	英語コミュニケーションⅡ				論理・表現Ⅱ		家庭基礎		総合的な探究の時間	LHR		
	理系																														
						歴史総合		数学Ⅱ			より2科目				数学B																
第3学年	単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	文系	論理国語				古典探究		世界史探究 日本史探究 政治・経済				政治経済演習 日本史演習 世界史演習		体育		英語コミュニケーションⅢ				論理・表現Ⅲ		自由選択				総合的な探究の時間	LHR				
	理系																														
						数学Ⅲ		数学C		理科選択 物理(4単位) 化学(4単位) 生物(4単位)																					
						数学演習		応用数学演習																							

自由選択講座一覧

文学探究、古典演習、数学Ⅲ演習、基礎数学、物理演習、化学演習、生物演習、スポーツⅡ、音楽Ⅰ、音楽Ⅲ、美術Ⅲ
 書道演習、英語演習、国際英語、ファッション造形基礎、フードデザイン、情報Ⅱ

1 学年の「総合的な探究の時間」（1 単位）では、道徳教育とキャリア教育の一体化を図る「人間と社会」、2 学年の「総合的な探究の時間」（1 単位）では、身近な事象に対して課題意識をもち、その解決に向けてどうすべきかを考えるための「課題探究」を行います。
 3 学年の「総合的な探究の時間」（1 単位）では、2 年次の活動を踏まえて“自ら考え、解決策を発信する”演習（課題解決型学習）を行います。

わかった！できた！を増やす

☆習熟度別授業の実施

「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」では、習熟度別の少人数授業を行っています。学力に合った授業で、質問しやすい環境です。

☆「紅葉川学力向上プログラム」

生徒に配布される、本校各教科の教員が執筆している学習についての手引きです。勉強の仕方やノートのつくり方、身につけてほしい学力やその方法など、有意義な情報が満載です。

☆一人一台端末を活用した学習

本校では、生徒一人一台端末を活用した授業を行っており、「校内無線 LAN」「大容量クラウド」を併用し、主体的・対話的な学び、個別最適化な学びを目指した授業を行っています。

英語を十分に学べる

☆充実した英語学習

各学年に「英語コミュニケーション」「論理・表現」の授業が計 5～7 単位設置され、3 年間で18単位の英語学習を実施しています。さらに学びたい場合は、自由選択授業も加えると22単位の授業を受けることができます。

☆4 技能を伸ばし、「使える英語」を習得できる授業

Reading、Listening、Speaking、Writing の 4 技能をバランスよく指導します。さらに Speaking、Writing の実技テストを実施しており、「使える英語」を習得できます。

☆外部英語検定試験の1・2 年全員受検

大学入試に活用できるスコア型英語 4 技能検定である GTEC を全員受検します。学校を会場としての実施です。自分の英語力を測定でき、進路にも活用できます。

紅葉川の学び

海外交流

オーストラリア留学体験記 (令和7年度鈴木青少年の翼の会)

高橋 奈央

(江戸川区立松江第四中学校出身)



私が留学しようと思った理由は、海外の生活に憧れていたからです。

幼い頃から海外の映画やドラマをよく見ていて、日本とは異なる生活スタイルに強く惹かれ、いつかは海外に行ってみたいと思うようになりました。

もう一つの大きな理由は、母からの勧めです。「英語ができてでもそれを活かさなくていいの」と言われたことがきっかけで、自分の力を試してみたいと思い、留学を決めました。

オーストラリアを選んだ理由は、日本との時差があまりなく、気候も大きく変わらないところです。また多民族国家であるため、様々な文化に触れることができると思いました。

留学当日、現地に到着すると、日本とは空気が違い、一気に海外に来たことを実感しました、初日は観光地を巡った後、パディと合流しました。パディの家庭は日本人でしたが、生活スタイルは日本と大きく異なり、新鮮な驚きがありました。

翌日からは学校体験が始まりました。日本の高校とは大きく異なり、自分の受けたい授業を選ぶスタイルでした。クラスも固定ではなく、空き時間にはホールのような場所で友達と過ごすなど、自由な雰囲気に驚きました。

学校生活で印象に残っていることの一つは、マルチメディアの授業です。生徒自身のアカウントを使い、好きなテーマで動画制作をしており、日本ではなかった体験で面白かったです。もう一つが、現地の生徒達は、周りに合わせるのではなく、自分はこうしたいという意見をしっかり持っており、楽しそうに学校生活を送っている姿が印象的でした。

現地での食事は全体的に量が多く、有名なファストフードも多くありました。

一方でショッピングモールには日本食レストランもあり、そこで食べたトンカツはとても美味しく海外にいながらも、日本を感じることができました。

この留学を通して、最初は不安もありましたが、現地の人と関わることで日本と異なる価値観に触れ、自分の考えをきちんと持ち、それを伝えることが大切だということ、言語は完璧でなくても、「伝えたい」という気持ちがあれば、人と繋がるということ、自分から行動することで、自分の周りの環境が大きく変わることを学びました。この経験を通して得た学びを活かし、失敗を恐れず挑戦し続けようと思います。

先生からのメッセージ

私たちはなぜ英語を学び続けるのでしょうか？なぜ母語以外を学ぶ必要があるのでしょうか？ふと考えてみるとそのような疑問が浮かんだ人も少なくないと思います。

外国語を学ぶことは、単に知識や技能を身につけることではありません。言葉は私たち人間の発想や思考を形にするための手段であり、言葉によって私たちが生きる世界を知り、その世界を広げることに繋がります。実際に、母語の世界だけでは捉えきれない新たな発見がまだまだあります。高校で英語を学ぶと、新たな考えにたくさん触れることになります。その入り口として英語とどのように付き合っていくのかを授業で学び、さらに様々な活動に積極的に臨むことで、皆さんの世界を広げるための確かな力になっていきます。この紅葉川高校では是非多くの人と関わり、助け合いながら大いに学びに励んでください。

(英語科 池田先生)



現代数学を学ぶ意味は多岐にわたります。数学は論理的思考や問題解決能力を養うだけでなく、科学や工学、経済学など多くの分野で重要な役割を果たします。また、数学の基礎を身につけることで、データ解析やコンピューターサイエンスなどの新しい分野にも対応することができます。

そのため、現代社会における数学の知識はますます重要になっているといえるでしょう。本校では、数学Ⅰと数学Ⅱで習熟度別授業を行うことで、生徒がわかる授業を実践し、理系の数学Ⅲでは、思考力表現力を培う授業を展開しています。

ぜひ、本校に入学して、“数学がわかる”を実感して、一緒に数学の魅力を体験しましょう。みなさんと一緒に学ぶことができることを心待ちにしております。

(数学科 阿部先生)



海外交流

本校は令和6年度より海外学校間交流推進校の指定を受けています。



令和6年度はマレーシアの高校生を招き、茶道や書道の日本文化体験を行いました。

また、帰国後はZoomによるオンライン対話を実施して交流を深めました。

令和7年度もチェコの高中生を招き、茶道や書道に加え剣道などを通して、交流を深めました。



施設写真



図書館



トレーニングルーム



多目的ホール



教室



自習スペース



プール

紅葉川の進路

進路指導方針

- (1)進路探究充実のための校内環境
各学年の教室棟エリアに、自習用ブースを含めた進路探究コーナーを開設し、進学に関する情報誌・オープンキャンパス情報・公開模試のスケジュールなどを掲示しています。また、学習面での相談やフォローアップ指導を行いやすくするため、ホワイトボードや追加教材を配備し、ラウンジとして積極的に活用できる形になっています。
- (2)外部学習支援ソフト導入による自学自習促進
日々の学習内容の復習、演習課題の配信を主に行っています。また、個々の到達度に合わせて中学校内容の復習から受験レベルの演習までをカバーすることができ、学習における不安を取り除けるツールを導入しています。1年間を通して皆さんの必要なタイミングで活用できるようになっているので、積極的に活用することをおすすめします。
- (3)個別指導の充実
近年増加する年内入試での大学・短期大学等の合格に向け、希望者には担当教員が1名ずつ割り当てられ面接指導や書類指導を行っています。また、生徒が学習面の質問を解消したい際には課外対応を充実させられるよう、個別対応スペースを複数設けています。

過去3年間の実績

主な大学合格者数											
大学	R5	R6	R7	大学	R5	R6	R7	大学	R5	R6	R7
(国立)北海道教育大学		2		拓殖大学	13	22	43	武蔵野大学	11	16	11
(国立)千葉大学	1			千葉工業大学	1	7	12	明海大学	8	4	5
明治大学	1		1	千葉商科大学	5	7	9	目白大学	13	9	11
明治学院大学	1		1	中央学院大学			1	横浜薬科大学			1
國學院大學	2	1	5	帝京平成大学	4	6	9	立正大学	13	13	10
獨協大学	4	4	1	東海大学	4	1	4	和光大学			1
神田外語大学	6	8	2	東京家政大学	1	2	3	流通経済大学	2	1	1
日本大学	21	29	17	東京家政学院大学	2	1	2				
東洋大学	5	10	15	東京工芸大学	1	1	1				
駒澤大学	4	2	2	東京国際大学	1	1	2				
専修大学	4	16	17	東京国際工科専門職大学			1				
大東文化大学	2	6	4	東京成徳大学	4	1	7				
亜細亜大学	3	4	8	東京電機大学	2	2	1				
帝京大学	6	11	11	東京都市大学	2		1				
国士舘大学	22	11	15	東都大学			1				
跡見学園女子大学			3	東洋学園大学	5	2	2				
大妻女子大学	1	4	3	二松學舍大学	1	6	2				
国際ファッション専門職大学			1	日本工業大学			1				
杏林大学	6	2	3	日本経済大学		1	1				
産業能率大学			2	日本女子体育大学	2		1				
淑徳大学	3	3	3	日本体育大学	6	5	3				
杉野服飾大学			1	文化学園大学	3	2	4				
順天堂大学	2	3	1	文教大学	4	4	4				
大正大学	6	9	9	文京学院大学	6		3				

■公務員

警視庁（2）

■主な民間就職先

日本郵便株式会社

仲協工業株式会社

関電工

■主な専門学校

東京都立広尾看護専門学校

江戸川看護専門学校

東京医療看護専門学校

慈恵看護専門学校

草苑保育専門学校

聖徳大学附属保育専門学校

令和7年度卒 39期生進路状況

	四年制大学					短期大学					専門 学校等	専門学校				就 職		浪 人	留 学	そ の 他	各 種 大 学 校	未 定	計
	指定校	公募	総合型	一般型	共通テスト 利用	指定校	公募	総合型	一般型	共通テスト 利用		指定校	公募	総合型	一般型	民間 企業	公務員						
男子	11	1	17	48	6	0	0	0	0	0	0	1	0	13	6	0	2	13	0	0	0	19	137
	83					0						20				2							
女子	19	1	16	23	6	1	0	2	0	0	0	4	0	33	8	2	0	0	0	0	0	6	121
	65					3						45				2							
合計	148					3					0	65				4		13	0	0	0	25	258
%	57.1%					1.2%					0.0%	25.1%				1.9%		5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	100%
令和6年度	68.2%					0.8%					0.0%	21.6%				2.1%		6.6%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	100%

主な指定校推薦の大学

亜細亜大学	城西大学	帝京平成大学	東洋大学
桜美林大学	専修大学	東京家政大学	東洋学園大学
大妻女子大学	創価大学	東京家政学院大学	二松学舎大学
神田外語大学	大正大学	東京経済大学	日本大学
関東学院大学	大東文化大学	東京工科大学	文京学院大学
杏林大学	拓殖大学	東京工芸大学	武蔵野大学
工学院大学	千葉経済大学	東京情報大学	明海大学
国士舘大学	千葉工業大学	東京聖栄大学	明星大学
実践女子大学	千葉商科大学	東京成徳大学	目白大学
秀明大学	帝京大学	東京電機大学	立正大学
淑徳大学	帝京科学大学	東京未来大学	和洋女子大学

卒業生の声

小金 和真 令和7年度卒業生

(江戸川区立南葛西第二中学校出身)

明治大学 理工学部 応用化学科1年



私は、1年生の頃から大学受験を意識して勉強していました。受験勉強を早く始めるメリットは沢山あります。まず勉強習慣を身に付けることができますので、基礎固めが重要な科目である数学や英語に、より時間を割くことができます。3年生から急に勉強を始めた場合、基礎を疎かにしてしまい、勉強への焦りを感じてしまいます。他にも自分に合った勉強方法を見つけ、効率的に進められるようになり、無駄な時間をなくすことができます。受験期間中は辛い期間ですが、その苦しさを乗り越えられるように頑張ってください。

佐藤 葵衣 令和7年度卒業生

(江戸川区立篠崎中学校出身)

國學院大學 文学部
外国語文化学科1年



私が3年間の高校生活の中で重要だと感じたことは、日々の授業をしっかり受けること、定期テストや小テストの勉強を継続することです。日々積み上げてきた努力は、必ずどこかで自分を救ってくれます。私自身、一般受験で國學院大學に合格した時その大切さを強く実感しました。そして私を合格に導いてくれた学校の環境にも感謝しています。

受験期間中の辛いときに支えてくれたのは、友人や先生方でした。紅葉川高校はそんな支えあえる、仲間を作れる環境の学校です。

大学受験では日々の努力と環境が重要になります。紅葉川高校に入学される皆さんも、ぜひ苦楽を共にできる仲間とともに、充実した高校生活を送ってください。

菊田 実宏 令和7年度卒業生

(江戸川区立松江第二中学校出身)

東洋大学 健康スポーツ科学部
健康スポーツ科学科1年



私は高校3年生の6月に進路を決め、7月から受験勉強を始めました。

その際に、進路指導部の先生や、先輩方から情報収集し、自分なりに戦略を立てて受験勉強に取り組みました。

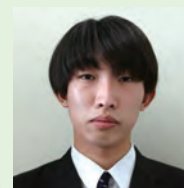
私は塾に通っていなかったため、学校のある日は放課後に、学校の図書室や、区の図書館で閉館時間まで勉強し、休日にも図書館や学校の自習スペースを利用して、集中して勉強できる環境づくりをしました。

受験勉強で大切なことは「昨日の自分より前に進む」です。最後まで諦めずに努力し続けて、目標を勝ち取ってください。

魚住 健悟 令和7年度卒業生

(江戸川区立葛西中学校出身)

専修大学 商学部
マーケティング学科1年



私は2年生の秋頃から英検の対策に取り組み、3年生になって10月にサッカー部を引退した後、本格的に受験勉強に取り組みました。

しかし、この時期まで部活動を続けていたことを、私は決して後悔していません。

受験勉強では体力や集中力が必要になりますが、部活動で培った体力や集中力は、受験勉強をするうえで、大いに役に立ったからです。

これから紅葉川高校を受検する皆様には、勉強に限らず一つでも多く自分が全力で打ち込めるものを見つけてほしいです。その経験が、必ず受験勉強の支えになってくれます。

稲葉 心悠 令和7年度卒業生

(江戸川区立二之江中学校出身)

日本大学 法学部 法律学科1年

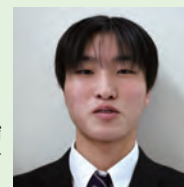


私は、日本大学に一般受験で合格しました。最初は指定校推薦での合格を目指していましたが、途中から一般入試での受験に切り替えました。合格して分かったことは、受験で必要なことは日々の積み重ねです。最初のうちは、授業の小テストに向けて勉強を行うなど、小さなことから始める事が大切です。日々の勉強の習慣が身につくことが合格に繋がります。一般入試でも推薦入試でも最後まで粘り強く努力をして、最高の結末を勝ち取ってください。

小島 拓海 令和7年度卒業生

(江戸川区立小松川第二中学校出身)

警視庁警察学校 内定



私は2年生から公務員試験対策を始め、3年生の時に警視庁採用試験に合格することができました。

公務員試験は教養試験や面接、作文などがありますが、紅葉川高校では、月に一回外部の講師の先生を呼んで、講習会が行われ対策をすることができました。私は月に一回では少なかったため、外部の講師の先生を通じて、無料の講習会にも参加していました。

また、作文や面接練習では紅葉川高校の先生方に手伝っていただきました。私の癖や私に足りないことは丁寧に指摘していただき、よかった部分は褒めていただきました。先生方は忙しい中、夜遅くまで面接練習に付き合っていたいただき、卒業した現在でも、先生方には大変感謝しております。

受検生の皆様が、紅葉川高校で後悔のない選択をし、最高の高校生活を送れることを願っています。

紅葉川の年間行事

年間の行事予定

4月

始業式
入学式
新入生歓迎会
遠足
生徒総会
セーフティ教室

5月

1学期中間考査
体育祭

7月

1学期期末考査
芸術鑑賞教室
終業式

6月

開校記念日（1日）
面談週間

8月

夏季合宿
夏季講習



体育祭

赤・青・緑の3団に分かれ、仲間と協力しながら熱い戦いが繰り広げられます。色対抗リレーや3年生全員による色別応援パフォーマンスなど、毎年盛り上がります。



会長・委員長の声



令和8年度 生徒会長

川島 杏莉（江戸川区立葛西中学校出身）

紅葉川高校は長い歴史の中で、生徒と教職員が丸となって築いてきた「文武両道」「自主自立」の伝統がある学校です。

学習と部活動のどちらにも力を入れながら、生徒一人一人が自分らしく成長できる環境が整っています。

部活動や委員会、学校行事では、生徒が中心となって活動します。特に三大大行事では、各実行委員長を中心に目標やスローガンを決め、準備から本番まで仲間と協力しながら取り組みます。自分たちで考えて行動する経験を通して、責任や協調性を身に付けることができます。

また、クラスや学年を超えた関わりも多く、様々な人と出会いながら新しい考え方や価値観に触れることができます。先生方は、生徒の考え方や思いを尊重してくれるため、安心して高校生活を送ることができます。

紅葉川高校は、積極的に新しいことに挑戦し、自己の可能性を伸ばすことができる学校です。是非この学校で自分らしい高校生活を見つけてください。



令和7年度 体育的行事実行委員長

小池 優斗（江東区立亀戸中学校出身）

体育的行事実行委員会の主な活動内容は体育祭の運営です。私は3年間委員会に所属し3年時には委員長を務めました。委員長として心がけていたことは、委員会の全員が安心して活動できる雰囲気をつくることです。会議ではできるだけわかりやすく伝えることを意識し、先生方とも事前に打ち合わせを行いながら準備を進めました。

大変なこともありましたが、努力が実を結び、生徒からも先生方からも大変好評な体育祭にすることができました。

紅葉川高校には体育祭以外にも行事があり、きっと一生の財産となります。積極的に参加して、紅葉川高校でしかできない、悔いのない青春を送ってください。

9月

始業式
紅葉祭（文化祭）

11月

修学旅行（2年）
面談週間

1月

始業式
文章能力検定（1・2年全員）

3月

学年末考査（1・2年）
卒業式
球技大会
3年生の話を聞く会
修了式
春季講習

10月

2学期中間考査
生徒会役員選挙

12月

GTEC（1・2年全員）
2学期期末考査
終業式
冬季講習

2月

合唱コンクール



令和7年度
文化祭実行委員長

山下 拓斗（江戸川区立西葛西中学校出身）

このパンフレットに載っているように、紅葉川高校の三大行事の一つでもある紅葉祭は、生徒一人一人が主体となってゼロから作りあげる行事です。

具体的な内容は、1年生が劇やダンス、2年生は縁日やお化け屋敷、3年生は食品や縁日にお化け屋敷など、各団体が一致団結して最優秀賞を目指します。

紅葉祭は2日間あり、2日目は一般公開され多くの方々が来校します。

完璧な文化祭を作る必要はありません。大切なことは文化祭を作り上げるまでの「プロセス」です。準備期間中は、意見がぶつかったり悩むこともありますが、その経験こそが自分たちの財産になります。過去の伝統を大切にしながらも、未来の紅葉祭はさらに自分たちの色を濃くして欲しいです。紅葉川高校で最高の思い出を作ってください。



令和7年度
合唱コンクール実行委員長

清水 董鈴（江戸川区立松江第四中学校出身）

2月に行われる合唱コンクールは、1年で最後の大型行事です。紅葉川高校では、1・2年生のみで合唱コンクールの準備を行うので、合唱コンクール実行委員会は、校内で唯一3年生がいない委員会です。なので、合唱コンクール実行委員長になったばかりの時は、不安が大きかったです。しかし、合唱コンクールが近づくにつれまとまっていく各クラスの様子を見て、達成感を感じると同時に、この委員会に入って本当に良かったと思えました。

当日は、外部の大型のホール会場での発表となります。これまでの練習の成果を発揮し、美しい歌声がホールに響く様子は生徒一同感動します。

合唱コンクールは生徒全員で作る行事です。委員でない人も協力して練習や本番に全力で取り組んでいます。各学年各クラスで最優秀賞を目指して全力で競い合しましょう。

紅葉川の部活動

陸上競技部



バドミントン部



男子硬式テニス部



女子硬式テニス部



硬式野球部



サッカー部



男子バスケットボール部



女子バスケットボール部



男子バレーボール部



女子バレーボール部



卓球部



水泳部



柔道部



剣道部



ダンス部



チアリーディング部



書道部



軽音楽部



演劇部



写真部



吹奏楽部



美術部



茶道部



漫画研究部



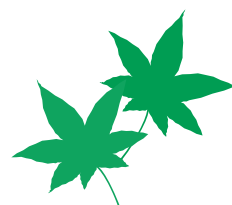
コンピュータ部



家庭部



メイプル部（地域奉仕）



部長の声

硬式野球部

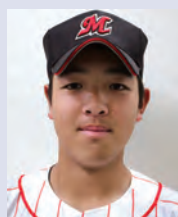
主将 木村 侠月

(江戸川区立西葛西中学校出身)

私たち紅葉川高校の硬式野球部は攻撃野球を目標にして、今年は東京都ベスト8を目指して、毎日朝から放課後まで練習しています。土日や休日には、他校に遠征に行き練習試合を行っております。活動中は辛いこともありますが、その分達成感や、やり甲斐を感じることができ、また、練習の中で、競い合いや成長を感じることができます。

また野球部では、行事や学校生活を大事にしており、朝の清掃活動や式典行事の際の会場設営などを率先して行っており、「野球部が学校を引っ張っていく」精神を育む環境です。

野球部で過ごす学校生活はとても楽しく、充実しています。経験者も初心者も入部してくれるのをお待ちしております。



サッカー部

部長 山口 颯太

(江戸川区立南葛西第二中学校出身)

私たちサッカー部は、「紅新」をスローガンに活動しています。

昨年度、部活動体験者数は140名を超え、スポーツ推薦の倍率は5.50倍(全都第2位)、リーグ戦では過去最高の1部第2位で終えることができました。

今年度は、日常生活・技術・体力・戦術・学力・結果をさらに更新できるように部員77名全員で努力しています。

また、OB・OGや保護者など、サッカー部にかかわるすべての人が紅葉川 Family として繋がりを大切に、応援してくれています。

そしてなんとといっても、サッカー専門のスタッフが6名、近隣の人工芝ラウンドを活用した練習など、サッカーに取り組む環境が他校に比べて整っています。

皆さんもぜひ紅葉川に入学し、サッカー部 Family の一員として一緒に成長しましょう。



陸上競技部

部長 園城 欣之介

(江東区立第二南砂中学校出身)

私たち陸上競技部は層が厚く、今年度は40人を超える部員を誇ります。陸上競技は個人種目ですが、チーム一丸となって切磋琢磨しながら、目標である自己ベストの更新、都大会、関東大会出場を目指して練習しています。

ただ目指すだけでなく、令和3年度には、関東新人大会に走高跳で入賞。令和4、5年度と連続で、東京都高等学校選手権大会に5000mとやり投げで入賞しており、令和6年度にも、100mリレーで都選抜大会に入賞する実績をあげています。

このように競走だけではなく、投擲や跳躍といった種目でも活躍しており、自分の興味のある種目に挑戦することができます。

また紅葉川高校の陸上部は、顧問の先生が全国入賞経験もある先生なので、陸上の専門的な指導を受けることができます。

陸上部では経験者でも初心者でも大歓迎です。皆さんと共に自分たちらしく練習できることを、楽しみにお待ちしております。



チアリーディング部

部長 柴山 理於

(葛飾区立本田中学校出身)

私たちチアリーディング部は「切磋琢磨」をモットーに、年3回ある校内公演や、外部の大会や公演に向けて日々練習に励んでいます。昨年は、アメリカンフットボールの全国大会決勝である、クリスマスボウルでの公演など、特別な体験ができる部活動です。

練習の中で困難に直面することもあります。学年関係なく意見も出し合い、互いに高めあって、楽しみながら活動しています。

チアリーディング部の練習環境は、外部指導員の先生がいらっしゃることや、顧問の先生が経験者であることなど、大変充実しています。

チアリーディング部では、入学式や学校説明会などの学校行事や、野球部の応援など、チアリーディング部ならではの活躍をする場面が多くあります。積極的に行事に参加することで、チャレンジ精神が養われ、学校生活全般でリーダーシップを発揮する機会が多くなります。新入生の皆様がチアリーディング部に入部して、私たちと最高の青春を送れることを楽しみにしています。



美術部

部長 相田 咲奈

(江戸川区立西葛西中学校出身)

私たち美術部は、先輩後輩関係なく仲が良く、明るくパワフルに活動しています。

部員一人一人が個性や表現を大切にしながら、絵画やイラストや立体作品など、幅広い制作に取り組み、互いに刺激を受けながら表現力や感性を磨いています。また、毎年公募展に作品を出展しており、選ばれた作品は今年も東京都美術館に展示されました。

自分の作品を多くの人に見てもらえる貴重な経験で、近年は賞に選ばれた部員も複数います。私も、第5回つるまき本の帯デザイン賞で優秀賞をいただきました。

さらに、美術部では校外学習として様々な美術館を訪れ、多くの作品を鑑賞することができます。初心者も大歓迎なので、是非私たちと一緒に楽しく活動しましょう。



書道部

部長 田中 悠大

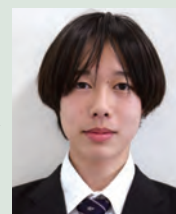
(葛飾区立新小岩中学校出身)

私たち書道部は「思いやり・助け合い・仲良く」ということを大切に、日々活動しています。

活動内容は毎年高文連で展示する作品の制作や、文化祭で披露するパフォーマンスの練習です。ここ2～3年の実績は第29回全日本高等学校書道コンクールで準大賞、第36回大ケヤキ全国書道絵画展にて東根市芸術文化協会賞、第12回葛飾柴又帝釈天全国書道コンクールにて審査委員長賞を受賞しており、部員全員が切磋琢磨しています。

パフォーマンスは、一から構成を自分たちで考えるためとても大変ですが、完成した時には大きな達成感を味わうことができます。また、書道の魅力や迫力を多くの人に伝えられることにも、やりがいを感じます。

お互いに助け合いながら活動しているので、初心者でも安心して取り組むことができます。興味がある方は是非書道部に来てください。



左ページの部活動の写真は写真部が協力してくれました。

表紙の写真や学校の施設の写真も、写真部が撮影しています😊



令和9年度入試に向けて 紅葉川高校を「あなた自身で」体験してください



学校見学会 予約制（インターネット利用）

7月22日（水）

8月18日（火）

学校説明会 予約制（インターネット利用）

10月10日（土）

11月21日（土）

12月25日（金）

個別相談会 予約制（インターネット利用）

1月6日（水）

部活動体験 予約制（インターネット利用）

部活動ごとに企画・実施します。

本校 Web サイトでご確認ください。

授業公開

10月10日（土）

紅葉祭

9月11日（金） 校内発表

9月12日（土） 一般公開

※各日程は変更となる可能性
がございます。
お手数ですが、本校 Web
サイトにて、日程・予約方
法等をご確認ください。

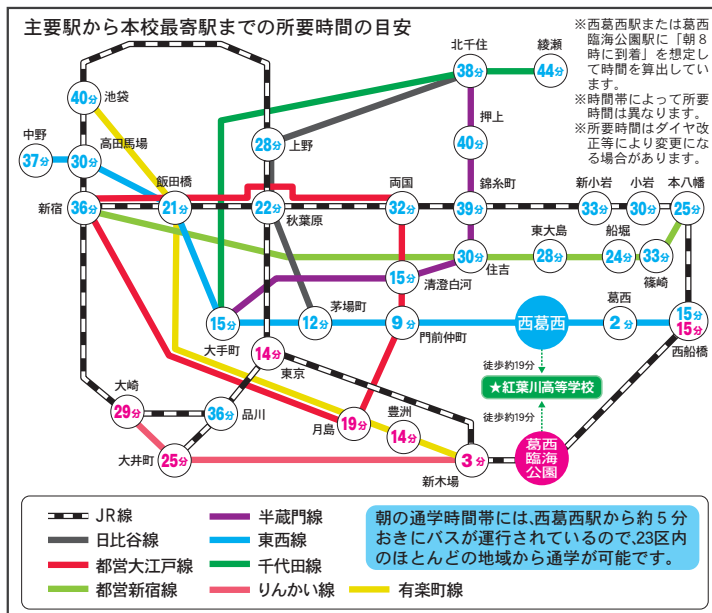
入学時にかかる費用について

入学者査料	2,200円
入学料	5,650円（減免制度あり）
制服	約38,000円
体育着等	約19,000円
上履き等	約6,000円
剣道用具	剣道衣等 約5,800円（選択） 柔道着 約4,000円
教科書	約21,000円 （芸術選択により異なる）

授業料について

都立高校は授業料を原則としてお支払いいただきます。年額118,800円（月額9,900円）となりますが、就学支援金の申請を行い、認定された場合は、就学支援金と授業料を相殺します。

交通アクセス



東京都立紅葉川高等学校

〒134-0086 東京都江戸川区臨海町 2-1-1
TEL : 03-3878-3021 FAX : 03-3878-3049
<https://www.metro.ed.jp/momijigawa-h/>



最寄りの駅

- 東京メトロ東西線「西葛西駅」から徒歩19分、またはバス利用で14分「紅葉川高校前」から徒歩1分
- JR京葉線「葛西臨海公園駅」から徒歩19分、またはバス利用で8分「中左近橋」から徒歩6分、もしくはバス利用で7分「中央卸売市場葛西市場前」から徒歩7分